



WithDrive

*特許出願済み

広告効果をAIで最適化できる車両屋外広告



- ✓ 無駄な広告費は無し
- ✓ 広告効果の評価可能
- ✓ 業界最安水準のコスト

第128回 かわさき起業家オーディション
「かわさき起業家賞」受賞

広告効果をAIで可視化できる 車両屋外広告「WithDrive」



株式会社Essen

代表取締役社長

橋 健吾

バスや電車、タクシーなどに掲載する車両広告を、目にしたことがある人は多いと思います。日常の中で自然と目にする機会の多い車両広告は、見た人に直接訴えかけることができるメリットがあり、多くの企業で利用されています。その一方で、SNS広告のような性質のものとは異なり、「どんな人が、どこで、どのくらい見てくれたか」といった広告効果を測定できないという問題点があります。私たちが展開する「WithDrive」は、車両広告の強い訴求力を生かしつつ、広告効果をAIで可視化できるという、これまでになかった広告プラットフォームです。2021年6月からサービスを開始しています。

代表の私、橋は仙台にある東北大学出身で、現在は東京大学の大学院生です。コロナ禍で停滞していた空気を変えるため、大学時代の仲間と3人でこの会社を立ち上げました。社名の「Essen」には、二つの意味があります。一つは「本質」を表すラテン語の“Esse (エッセ)”です。というのも、私たちは位置情報や空間統計情報などのビッグデータを分析し、「本質」を抜き出すことを強みとしているからです。もう一つは「越仙(えっせん)」という言葉遊びで、私たち3人が出会った「仙台」を「越えて」いくような大きなビジネスを展開しよう、という想いが込められています。

■受賞したビジネスに至った経緯

この事業のアイデアを思い付いたのは、2017年でした。そのころ、私は大学院への進学を目指していて、いろいろな場所で勉強してみようと、車で日本中をまわりながら試験勉強に励んでいました。その旅の途中で、自転車に看板をつけて走っている人を見かけたのです。看板には「日本一周に挑戦」という文言と、スポンサーの広告が貼ってありました。自転車に広告か、なるほど、と感心して見ていましたが、ふと「一般の自動車にも、こんな風に広告を貼れるのでは？」と思いつきました。「もしかしたら新しい広告ビジネスになるかもしれない」と気持ちが高まりましたが、その後はずっと忙しく、そのアイデアは宙に浮かんだ状態になっていました。

それから3年後の2020年。新型コロナウイルスの流行で時間が生まれたため、大学時代の仲間3人と「何か新しいことをやりたいね」と話すようになりました。そこで、先ほどの広告ビジネスのアイデアを伝えて、挑戦することになったのです。従来の車両広告ではなく、自分たちの持っているスキルを加えて、AIを用いた広告プラットフォームをつくってみよう、ということになりました。

また、私たちが無事に起業できた背景には、川崎市のみなさんの温かいサポートもありました。私の出身は愛媛県なので、もともと川崎市に縁はなかったのですが、たまたま友人と一緒に住むことになった武蔵小杉で、地元の寿司店の常連さんたちと顔見知りになりました。そこで私が「会社を立ち上げたい」という話をすると、みなさん応援してくれて、たくさん支援してくださる方々とつながることができたのです。人の温かさに触れたことで、「ここでやっていこう」と気持ちが固まり、川崎市を拠点に事業展開することに決めました。

■サービスの特徴

「WithDrive」は、一般の自動車に広告を掲載するサービスです。街中を自由に走行する車両に掲示することで、多くの人に広告に触れてもらうことができます。また、ドライバーにとっては、手軽に広告収入が得られる利点があります。

しかし、冒頭でも述べたように、一般的に車両広告は効果測定が難しく、広告主にとっては効果の実感を得にくいといった問題があります。競合他社は、走行距離や掲載期間に応じてドライバーに広告料金を支払っていますが、広告主に費用対効果料金を示すことができていません。

だからこそ、広告効果をAIで可視化することができれば、今までにない車両広告が実現できると考えました。大学時代にビッグデータを扱い、物事を統計的に考えることを得意としていた私たちは、車両の位置情報と空間統計データを組み合わせることで広告閲覧確率を算出。車が走行したエリアで「どんな属性の人が、広告を何回、何秒見たか」といったことを確率的に求めることに成功しました。これは「WithDrive」だけが持つ特長であり、他社広告との大きな差別ポイントになっています。

また、広告効果が出やすい走行ルートを示したマップをドライバーに提供していることも、「WithDrive」の特長です。ドライバーは、スマートフォンのアプリからマップを確認し、より広告効果が見込めるルートを選ぶことが可能です。広告が見られやすい場所を優先的に走る事で、報酬が上がっていくシステムになっています。ドライバーが「まっすぐ帰れるけど、せつ

かくなら報酬がもらえるルートで帰ろう」と考えるため、自然と広告効果が高まる仕組みになっています。その結果、閲覧回数を根拠とした費用対効果を広告主に示すことができるようになりました。

■現状の課題

「WithDrive」の広告ステッカーは、ドライバー自身が好きなものを選びます。ドライバーは「WithDrive」のアプリから自分の貼りたいデザインを選んで申し込み、自宅に届いたステッカーを車に貼る、という流れです。そのため、デザインの内容によっては、なかなか選ばれず、残ってしまうステッカーが出てしまうことがあります。ドライバーに「貼りたい」と思ってもらえるクオリティの高いデザインで制作していかなければ、ビジネス自体がまわらなくなってしまう恐れもあるということです。そうならないために、今後はデザインを実現するためのクリエイティブ力の向上が優先事項です。また、自家用車に広告ステッカーを貼るというビジネスモデル自体が、まだ一般的には浸透していないと思いますので、今後はそこを上手くブランディングし認知度を上げていくことも必要だと考えています。

■今後の展開

現状、まだサービスがスタートしたばかりなので、掲示場所は一般車両のリアウィンドウに留まっています。2022年中には車両横への広告掲示も可能にし、歩行者をターゲットにした広告サービスを展開予定です。また、時間と場所によって適切な広告を出せるディスプレイ広告や、オークション形式の広告システムなども導入していきます。そのほか、バイクや歩行者への広告掲示、物流企業やタクシー会社と連携したBtoB展開などにも挑戦し、ターゲットや対象エリアを広げていきたいです。さらに、このサービスは海外にもニーズがあると考えていますので、将来的には世界市場に進出するという目標もあります。

さまざまなデータを組み合わせることによって、新しい価値を生み出す私たちのビジネスは、まだまだ大きな可能性を秘めています。5年後の株式公開を目指し、さらなるチャレンジを続けていきます。

■エントリーを検討中の方へ一言

かわさき起業家オーデイションに参加するまでは、自分たちのサービスをどうやって世の中に広めて行けば良いか悩んでいました。しかし今回、思い切って挑戦し、賞をいただいたことで、より多くの方に「Essen」という会社を知ってもらうことができました。さらに、授賞式ではたくさんの方を紹介していただいたり、財団のみなさんが私たちのビジネスの今後について議論してくださったりと、うれしい機会もたくさんいただいています。受賞して終わりではなく、オーデイション後に手厚いサポートがあることが、他のビジネスプランコンテストとの大きな違いだと思います。ぜひ応募してみてください。

会社名：株式会社Essen

住所：〒211-0025

神奈川県川崎市中原区木月1-32-3

メールアドレス：info@essen-japan.com

ホームページ：https://www.essen-withdrive.com/